



2022年12月13日

各 位

会 社 名 株式会社ノーリツ
代表者名 代表取締役社長 腹巻 知
(コード 5943 東証プライム市場)
問合せ先 取締役 竹中 昌之
兼 専務執行役員
(電話番号 078-391-3361)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、本日開催の取締役会において、2021年度の実効性評価における課題に対する取り組み結果ならびに2022年度の実効性評価の結果および今後の課題を確認しましたので、その概要をお知らせ致します。

1. 2021年度の実効性評価における課題に対する取り組みについて

当社取締役会は、前回の実効性評価に基づいて、取り組むべき課題を定め、実効性向上に取り組みました。

1) 2022年度の取り組み

- ・各取締役が保有しているスキルおよび取締役に期待しているスキルを設定することで役割の明確化を図り、取締役会機能を強化しました。
- ・株主との対話で得た意見を踏まえて、取締役会で議論をしました。

2) 2021年度の実効性評価における課題に対する取り組み

- (1) 持続的な収益性確保や資本コストについて定期的に議論し、グループ全体の事業ポートフォリオの最適化を図る。
 - ・持続的な収益性確保に向けて、リスクマネジメントの一環として、自然災害やパンデミック、地政学等のリスクについて議論をしました。
 - ・事業ポートフォリオの最適化を踏まえた次期中期経営計画を策定するために、中長期的な目標設定と当該目標の取り組むべき課題について議論をしました。
- (2) 取締役会でこれまで以上に中長期課題や ESG の取り組みについて議論できるよう、決裁権限委譲を図る。
 - ・取締役会の役割を明確にし、中長期的な企業価値向上に向けた議論にこれまで以上に集中できるよう権限委譲を行うことでモニタリング機能を強化しました。
- (3) グループ全体の内部統制強化を目的として、取締役会でグループ会社のモニタリングを充実させる。
 - ・モニタリングの充実を図るために、グループ会社の内部統制を定量的に評価し、その結果を取締役会で議論しました。

2. 2022年度評価方法

- (1) 中立的・客観的に検証するために第三者評価機関にて、在任するすべての取締役9名に対し、アンケートおよびインタビューを実施し回答を得ました。

アンケートおよびインタビューの主な項目は次のとおりです。

- ・取締役会の構成
- ・取締役会の運営
- ・取締役会の議論
- ・取締役会のモニタリング機能
- ・社外取締役のパフォーマンス
- ・取締役に対する支援体制
- ・トレーニング
- ・株主（投資家）との対話
- ・自身の取り組み
- ・諮問委員会の運営
- ・総括

(2) 取締役会において、アンケートおよびインタビューの回答内容をもとに意見交換を行い、課題を抽出し今後の取り組みを審議しました。

3. 取締役会の実効性に関する評価結果の概要

上記による評価の結果、当社取締役会は適切に機能しており、取締役会の実効性が確保されていることを確認しました。

一方、取締役会の実効性をさらに高めていくために取り組むべき課題として、次のような意見が出ました。

- (1) 当社が長期的に目指す姿を設定し、その姿から遡った中長期的な経営戦略を議論する機会を取締役会で増やしていく。
- (2) 次期中期経営計画策定にあたり、価値創造ストーリーに沿って、経営戦略（事業、財務、ESG）、経営目標および経営ビジョンを提示する。
- (3) 取締役会のモニタリング機能をこれまで以上に強化し、モニタリングすべき対象を明確にする。

4. 今後の対応

当社取締役会は、今回の実効性についての評価レビューに基づく課題に対し、取締役会のさらなる実効性向上のために必要な取り組みを実施し、改善に努めます。なお、当社は、取締役会の実効性評価を今後も定期的 to 実施し、より良いコーポレートガバナンスの実現を目指します。

以上